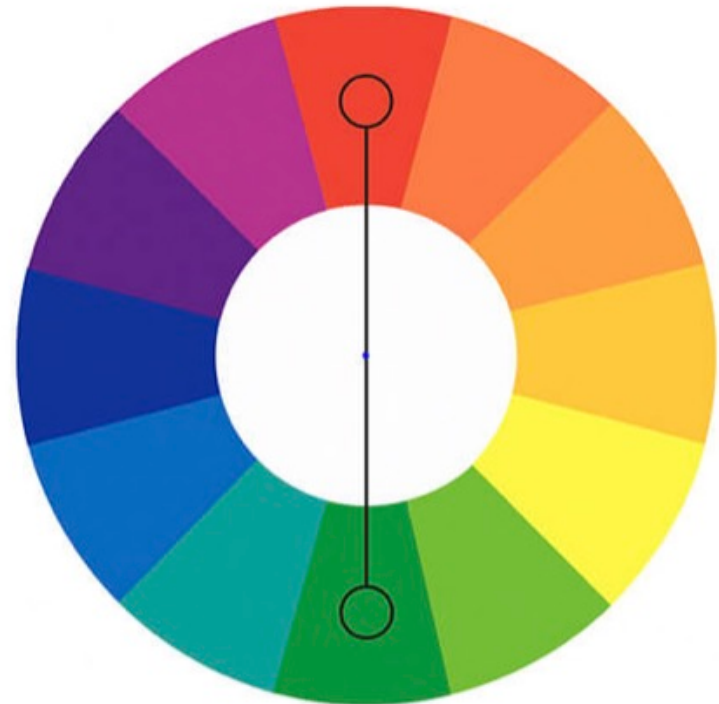


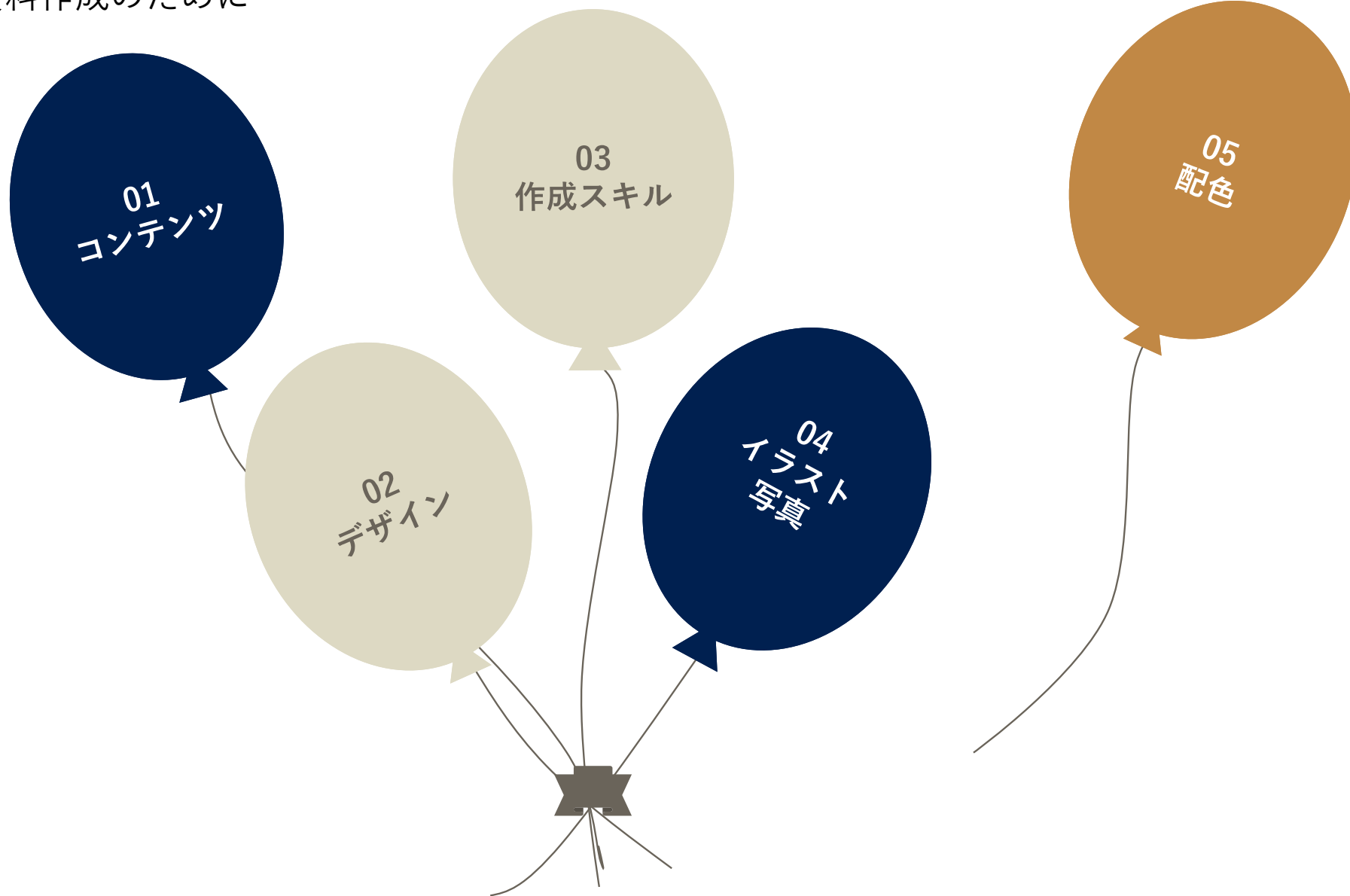
資料などのドキュメント作成で配色は重要です

色の基本からしまゆぐの例会で話題になった色弱者配慮を調べました

1. より良い資料作成のために
2. 発色方法
3. 有彩色と無彩色
4. トーン
5. マルチカラー配色
6. 色が人に与える印象
7. 簡単な配色のポイント
8. 最後に
9. 参考1 カラーユニバーサルデザインとは
10. 参考2 カラーユニバーサルデザインとApple

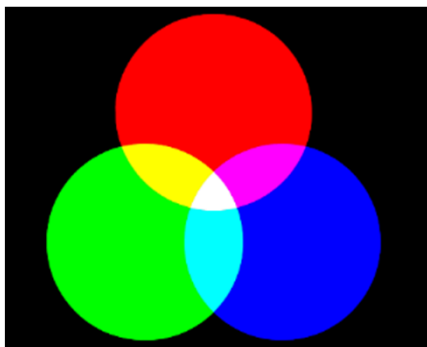


1. より良い資料作成のために



2. 発色方法

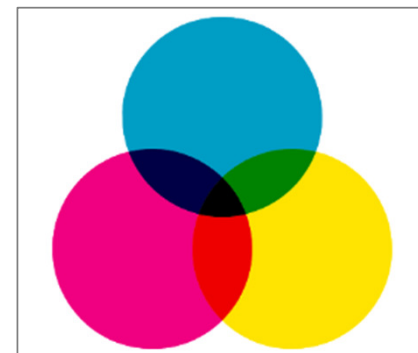
加法混色



R (赤)、G (緑)、B (青)

黒を下地として色を重ねるごとに白に近づく
例) スマートフォン・PC・スクリーン etc.

減法混色

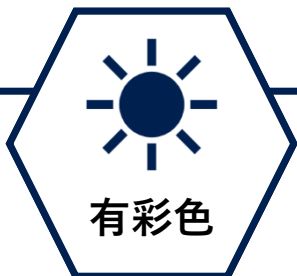


**C (シアン)、M (マゼンダ)、
Y (イエロー)、K (ブラック)**

白を下地として色を重ねるごとに黒に近づく
例) インク (紙媒体) etc.

PCで作成した資料は、PC上とは全く別の発色方法で印刷されるため、
なるべく**はっきりとした配色**が望ましい

3.有彩色と無彩色



有彩色



赤・青・黄 等色味を持った全ての色

配色によっては、豊かになることもあるが、
色の意味を打ち消してしまうことがある



無彩色

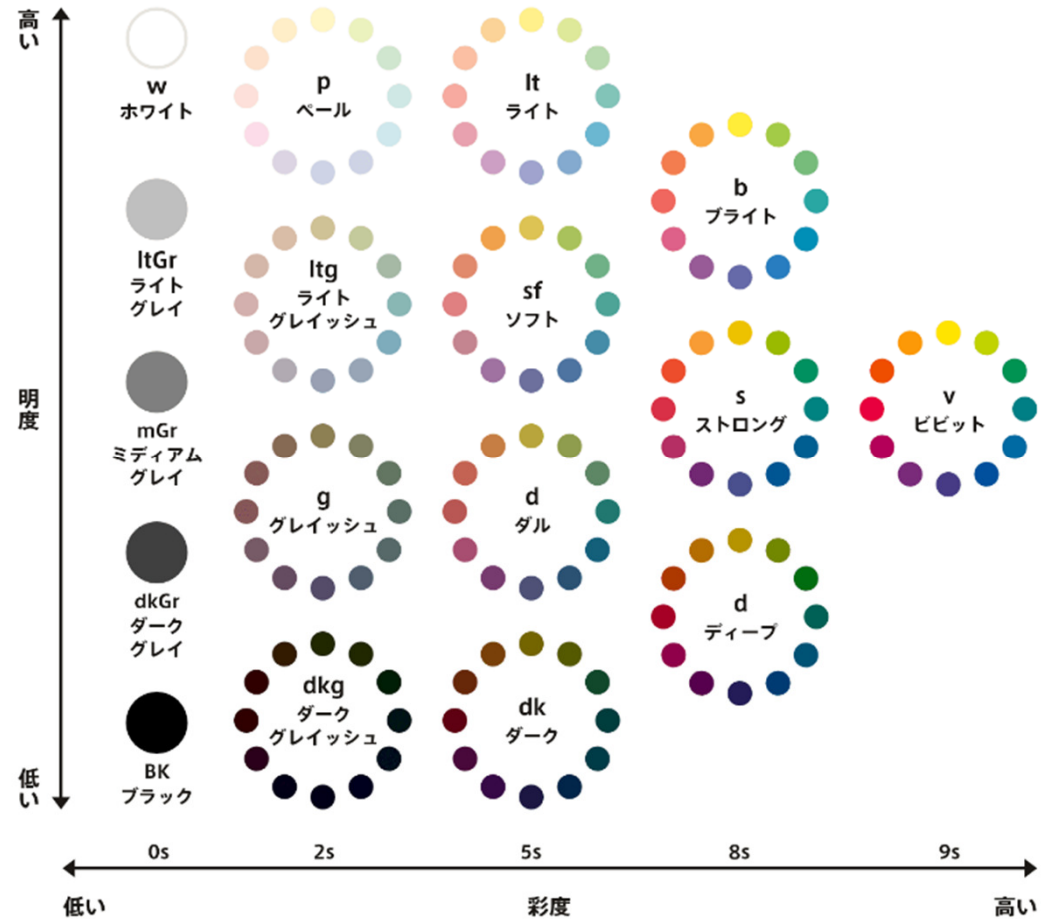


白と黒とそのグラデーション上にあるグレー

無機質な印象ではあるが、
どの有彩色とも相性が良い



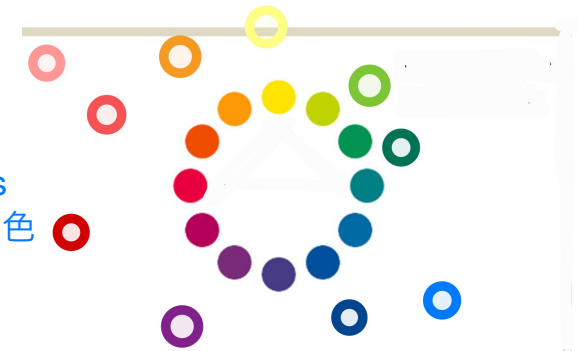
有彩色と無彩色でバランスよく配色する事が大切



明度と彩度が同じ色相を「トーン」と呼ぶ

5. マルチカラー配色

周囲は
GoodNotes
プリセット色



3色の色を組み合わせる時は、
同じトーンの色で規則性を持ってまとめると統一感が出る



1

類似色相の組み合わせ



2

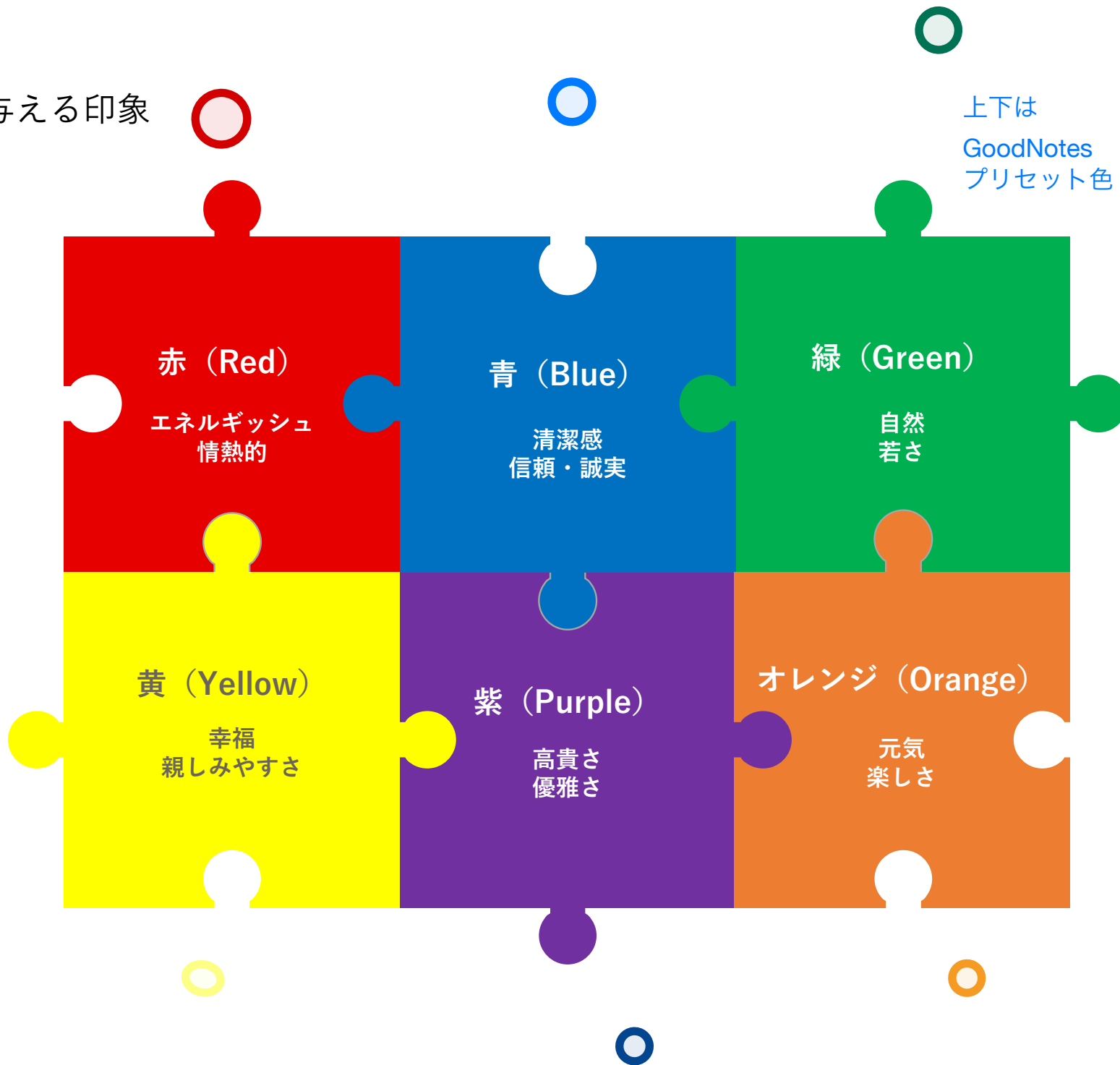
中差色相の組み合わせ



3

対照色相の組み合わせ

6.色味が人に与える印象



7.簡単な配色のポイント

白と黒

配色が苦手な場合は有彩色を1色にし、あとは無彩色にする

白×有彩色 黒×有彩色

グレー

グレーを使う場合は明度に差をつける

明度に差がない 明度に差がある

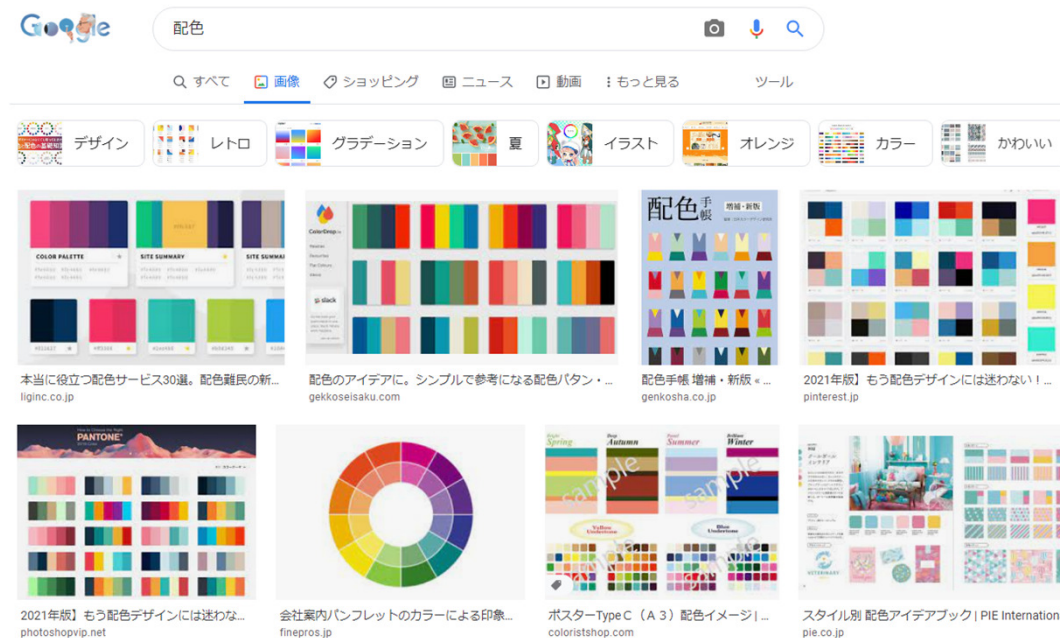
無配色を上手く
使うと
配色が簡単に
出来る！

セパレーション

有彩色を組み合わせる場合は間に無彩色を配色

セパレーションなし セパレーションあり

8. 最後に

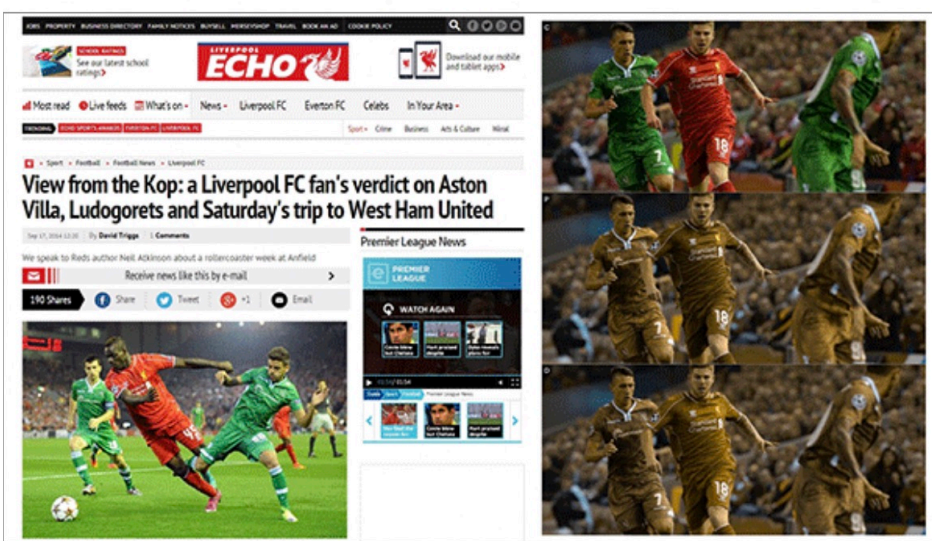


9. 参考1 カラーユニバーサルデザインとは

色弱の人は日本人男性で20人に1人で40人学級で半分以上が男性なら1人いる確率で、私の身内にも居ます
フランスや北欧の男性は10人に1人もいます

赤から緑が似て見えたり赤を感じれない等の人に配慮する事をカラーユニバーサルデザインという

サッカー試合：ユニフォームの色では対戦相手との見分けがつかない



ユニフォームの見分けがつかないことに対するクレームが殺到した

「パズドラ」でも色覚サポート機能がある



パズドラでは色覚をサポートする機能がある

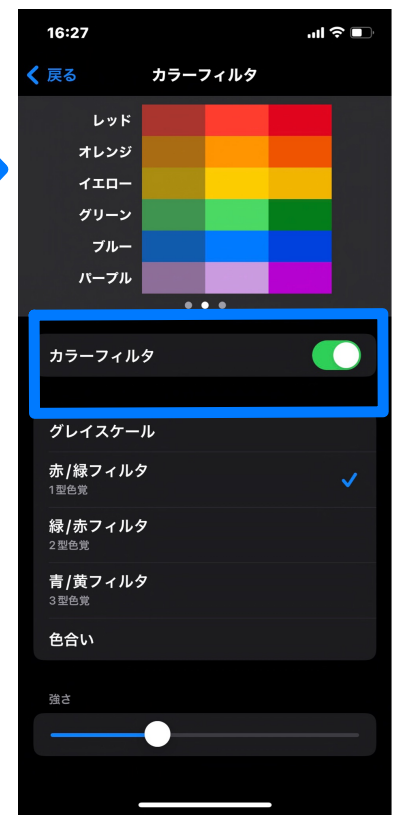
10. 参考2 カラーユニバーサルデザインとApple

- ・世界基準の良い見本ではAppleの公式ホームページが参考になる
文字に赤や緑がなく、主にフォントや大きさや太さで表現している
- ・iPhoneの設定のアクセシビリティの画面表示とテキストサイズのカラーフィルタで色弱者に見やすく出来る
- ・色の見え方が体験できる色覚シミュレーションツール「色のシミュレータ」というiPhoneアプリで自分で作成したデモを確認した



元の画像は赤で強調したかった

多い1型2型の人には赤は目立たないので右下の青の方が良かった



色弱者用